

# 成人片麻痺における環境適応講習会

## インフォメーションコースのご案内

拝啓

皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より当講習会に格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、沖縄環境適応講習会では「インフォメーションコース」の開催日程を下記のとおり企画いたしました。つきましては、業務ご多忙中とは存じますが、万章お繰り合わせの上ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

1. 日時：2016年9月10日(土) 14:00~18:00 (受付開始 13:30)

2. 会場：医療法人おもとと会 とよみの杜 2階 ふれあいホール

3. 内容：講義&実技

講義・実技内容	講師	アドバイザー
平面・移動空間への適応	大浜第二病院 OT 新垣 明利	大浜第二病院 OT 新里 順治
洗体・更衣	大浜第一病院 OT 五月女 麻紀	大浜第一病院 OT 下里 網
Activity	大浜第二病院 OT 馬場 隆	大浜第一病院 OT 吉嶺 浩
食事	大浜第二病院 ST 渡慶次 夏海	老健はまゆう OT 渡慶次 裕治

4. 参加費：3,000円 (振込み手数料別)

5. 対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

6. 定員：50名

7. 申し込み締め切り：2016年8月末日

8. 申し込み方法 [E-mail: okinawakanteki2@gmail.com](mailto:okinawakanteki2@gmail.com) より、以下の書式でご送付下さい。

項目	記入例	備考
件名	インフォメーション参加申し込み	迷惑メールと区別する為、必ず左記のタイトルを記入して送信して下さい。
宛先	<a href="mailto:okinawakanteki2@gmail.com">okinawakanteki2@gmail.com</a>	
1. 施設名	2. ○×病院	法人名は書かないで下さい。
2. 施設郵便番号	3. 901-0000	
3. 施設住所	4. 沖縄県那覇市安里〇-〇	
4. 電話番号	5. 098-0000-0000	施設の代表番号か直通番号をお書き下さい。
5. 氏名	6. 沖縄 花子 (カタリ ハコ)	フリガナもお書き下さい。
6. 職種	7. 作業療法士	
7. 経験年数	8. 5年目	
8. 環境適応講習会受講の有無	9. 有 (A, D)	A(福岡)、D(沖縄)
9. Bobath コース受講の有無	10. 有	
10. 連絡先メールアドレス	12. ohana1@x.x.jp	アドレスの書き間違いにご注意ください。

※1名につき1メールで申し込み下さい。

※迷惑メールと区別するため、必ず件名に「インフォメーション参加申込み」とご記入下さい。

申し込み後、受講受理のメールを一週間以内に返信致します。もしメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。

※キャンセルまたは受講者の変更は、1週間前までにメール又はお電話でご連絡下さい。受講費振込後にキャンセルされた場合、振込手数料を差し引いた額での返金とさせていただきます。尚、1週間前以降のキャンセルについては受講費の返還は致しませんのでご了承ください。

※講習会受講の際には動きやすい服装でお願い致します。

#### 大切な規定（以下同意の上お申し込み下さい）

○台風・天災等の諸事情により講習会日程の変更もしくは中止とさせて頂く場合がございます。その際、事務局よりメール・電話にて連絡を差し上げます。受講料および懇親会費は返金の対象となりますが、会場までの宿泊および交通費については個人負担となります。（補償は致しかねますので御承知下さい）

○安全を考慮した講習会運営に努めますが、研修中もしくは移動中に起きた事故、損害につきましては、自己責任となります。ご理解と各自での対応を宜しくお願いします。

#### お問い合わせ先

沖縄環境適応講習会事務局 okinawakanteki2@gmail.com

〒901-0215 沖縄県豊見城市字渡嘉敷 150

TEL098-851-0103 大浜第二病院 リハビリテーション科 OT：新垣（アラカキ）・馬場（ババ）

### 「環境適応講習会」について

沖縄環境適応講習会

この講習会では、可能な限り現在の臨床的課題に即したテーマを取り上げ、セラピストの労働時間や職場環境などを考慮した治療場面を提案することを目標にしています。（一部省略）片麻痺者が抱える機能的課題を出来る限り具体的に列挙して、それぞれに対応した経験をそのままの形で紹介するような構成を目指しています。ただし、機能的課題遂行には正常な知覚・運動統合過程が不可欠であることから、個体、環境、課題間の相互関係に着目し、神経生理をはじめ、生体心理学、認知科学、発達学、文化人類学など様々な分野の知見を援用して、それらの臨床経験を解釈しつつ応用的展開の可能性も探っています。（一部省略）紹介する技術の大半は、それを有効に実践するまでの一定のトレーニングを必要としています。しかし、講習会の日程は短期間であり十分なトレーニングは困難です。長期間の講習会開催は容易には難しく、個人的な研鑽に依存しているのが現状であります。ですから、人によっては同じテーマを継続し受講する方や、同一年次に複数のテーマに参加される方もありますが、それぞれご本人の判断にお任せしております。リハビリテーション医療をめぐる環境はめまぐるしく変化しています。その中で個別的な障害状況や回復の可能性とは無関係に早期の退院が迫られ継続した十分な医療を受けづらい環境ができつつあります。一方セラピストにとっても、一個の医療技術者として自らの医療行為に確信をもち研鑽に励む環境は確実に狭まりつつあると考えます。そのような状況であるからこそ自覚ある多くのセラピストが自らの技術を点検し充実させ後輩に引き継ぐ必要がますます高まっているものと考え、講習会という形で呼びかけております。

環境適応講習会ホームページ <http://www.kanteki.net> より

#### インフォメーションコース開催にあたって

「環境適応講習会」の基礎コースは、A「平面・移動空間への適応」、B「症例検討」、C「洗体・更衣」、D「食事」、E「Activity」の5コースで開催され、各コースの講習期間は2～3日のスケジュールとなっています。基礎コースを充実させることを目的に、今年度より基礎コースの準備的意味も合わせたインフォメーションコースを開催します。時間の可能な範囲で「環境適応」の各視点を紹介する内容となっています。